

第48回宇宙安全保障部会 議事要旨

1. 日時

令和4年5月12日(木) 10:00～11:00

2. 場所

中央合同庁舎4号館 1208特別会議室

3. 出席者

(1) 委員

青木部会長、片岡部会長代理、石井満委員、石井由梨佳委員、遠藤委員、折木委員、久保委員、白坂委員、新谷委員、鈴木委員、土屋委員、中須賀委員、名和委員

(2) 事務局

宇宙開発戦略推進事務局 河西局長、坂口審議官、藤重参事官

(3) 関係省庁

内閣官房国家安全保障局 徳永内閣審議官

総務省国際戦略局宇宙通信政策課 山口課長

外務省総合外交政策局 宇宙・海洋安全保障政策室 山後主席事務官

経済産業省製造産業局宇宙産業室 伊奈室長補佐

防衛省防衛政策局戦略企画課 中野屋室長

4. 議事要旨

- (1) 議題 (1) 「宇宙基本計画工程表改訂に向けた重点事項案(安全保障分野)」について、資料1に基づく内閣府からの説明の後、委員より以下のような意見があった。

(○: 委員からの質問・意見等)

○今般のウクライナ侵略から得られた教訓事項をよく分析し、事態対処時における民間宇宙企業の役割を含め、我が国に求められる宇宙安全保障の能力を検討すべき。

○国際的な宇宙安全保障協力について、将来的なCSPO(連合宇宙作戦)イニシアティブへの参加も見据え、二国間及び多国間での協力枠組みを拡大・強化すべき。

○宇宙システムの機能保証について、政府全体の取組の司令塔機能や、宇宙に関する事態が発生した場合における政府全体での対応要領・枠組みを明確にすべき。特に、具体的なサイバー攻撃の脅威認識の情勢や、サイバーセキュリティガイドラインを最新

状況に合わせていくことが重要。

○衛星間光通信、量子暗号、電波情報収集等の重要技術の開発についてわが国の取組を強化すべき。また、防衛省やJAXAが進めているSSAについても民間の地上・宇宙センサーの活用について検討すべき。

○デブリ除去技術の開発についてわが国としての取組を継続し、このデブリ除去の産業化を目指すとともに、国際的なルール作りに主体的な役割を果たすべき。

議論を踏まえ重点事項案を修正の上、委員会に報告することとなった。

以上